

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する

第2回事案検証会議

- 日 時 令和3年8月27日(金)
午前9時00分より
- 会 場 議会棟 大会議室

次 第

- 開 会
- 副市長あいさつ
- 教育長あいさつ
- 議 事 ① 事案検証結果報告について
- その他
- 閉 会

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する
第2回事案検証会議

日時：令和3年8月27日（金）午前9時00分から
会場：議会棟 大会議室

《会議出席予定者》

職 名	氏 名	備 考
副市長	吉田雅弘	
教育長	伊藤哲	
教育部長	田中英樹	
総務部長	鈴木文江	
財政部長	牧野妙子	
公共施設整備課長	原部英樹	
管財課課長補佐	柳博臣	
建築指導課係長	押山晶子	
取手図書館課長	長塚逸人	
文化芸術課主幹	秋田貴雄	
スポーツ振興課長	豊島寿	
スポーツ振興課課長補佐	今井正人	

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床損傷に関する 第2回事案検証会議 会議録

日時 令和3年8月27日(金)
午前9時～午前10時10分

会場 取手市役所 議会棟 大会議室

出席者 副市長 吉田 雅弘
教育部長 田中 英樹
総務部長 鈴木 文江
財政部長 牧野 妙子
教育委員会次長 大手 勉志
公共施設整備課長 原部 英樹
管財課課長補佐 柳 博臣
文化芸術課主幹 秋田 貴雄
スポーツ振興課長 豊島 寿

欠席者 教育長 伊藤 哲
取手市図書館課長 長塚 逸人
建築指導課係長 押山 晶子
スポーツ振興課課長補佐 今井 正人

開会

副市長あいさつ

ここまで聞き取り調査への協力に対し感謝している。今回はその結果を踏まえ事案検証会議を開きます。この事案は教育委員会内部の問題にとどまらず、市全体の問題として捉えている。再発防止策について検討をおこないたい。報告書の案については少し優しい部分もあるが皆さんから意見を出してもらいたいと考えている。

結果報告書についての説明

教育部長から検証報告書(案)について内容とこれまでの検証経過について解説

- ・報告書は事案検証会議の作成として報告予定である。
- ・全体の構成について

- ・第三者による検証について、
- ・2つの大きな検証ポイント
 - ①床の設計・工事に問題はなかったのか
 - ②ゴールの購入について

結論は

- ①については第三者検証からも問題はなかった。
- ②新ゴールの重量・構造は床の標準を上回るものであった。

再発防止として

重量物などの購入に当たっては関係者や専門家・業者との事前協議・確認が必要。それらが行われていれば今回の事案は防ぐことが可能であったと思われる。

会議参加者から報告書に対する意見・提言

- ・細かな文言の修正については後ほど報告
- ・床の張替えという表現は正しくない。
- ・タラフレックスという製品名は入れない方がよいのでは。
- ・経過表の竣工日は検査終了の3/27では。
- ・検証結果の中で、スポ生は認識していたが公共側の認識がなかった部分については公共を抜いた方がよい。
- ・ゴール管理の部分まで入れるべきか。確認出来たことは入れた方がよいと思う。
- ・重大事案として捉えていながら、具体的な再発防止策が不足している。全庁的に取り組むべき内容を載せるべき。チェックリストなどが考えられる。
- ・検証会議としてはチェックリストを提案する。
- ・備品の重量や用途の変更などの場合、関係部署などとの協議を実施する際に起工の段階でチェックリストを設けてはどうか。
- ・配慮不足という言葉はどうか、適切か。→ 確認不足とする。
- ・市全体の取り組みとする報告書にする。